

平成29年度第1回鎌ヶ谷市廃棄物減量等推進審議会 会議録

開催日時	平成29年7月26日(水) 午後2時から午後4時まで
開催場所	鎌ヶ谷市本庁舎3階 303会議室
委員出席者	伊藤勝、和田光誉、渡部郷勝、古瀬洋司、五味川理智、小山与子、矢崎博一、平方圭子、佐藤洋一、石井恵理 (以上敬称略)
事務局出席者	中川聡(クリーン推進課課長)、富田浩司(クリーン推進課課長補佐) 焼貝浩(クリーン推進課業務係長)、木村我道(クリーン推進課計画管理係)
傍聴者	なし

< 審議内容等 >

1 会議の成立について

鎌ヶ谷市廃棄物減量等推進審議会の委員定数10名に対し、出席委員10名であり、会議は成立した。

2 会議録の署名人の選出について

市内在住委員の名簿登載順で、出席委員の中から、会議録署名人は渡部委員、古瀬委員に決定した。

————— 今回の会議は傍聴者なし —————

3 議題(1) 会長選出

互選により伊藤委員に決定

4 議題(2) 副会長選出

互選により渡部委員に決定

5 議題(3) 鎌ヶ谷市の廃棄物・リサイクルの現状について

事務局説明：配布資料「鎌ヶ谷市の廃棄物・リサイクルの現状について」に基づき概要を説明

質疑応答

会長：下水道の普及率はどのくらいですか。

事務局：60パーセント前後です。

会長：プラスチックとペットボトルの質はどうですか。

事務局：3年連続でAを取っています。

矢崎委員：鎌ヶ谷市の廃棄物の現状をあまり知らないので、市の廃棄物処理施設の見学はできるのでしょうか、また、審議会の中で見学会を開催したことはあるのでしょうか。

事務局 : 最近では審議会の中で見学会は開催しておりません。

矢崎委員 : どうしたらよいか。

事務局 : クリーンセンターしらさぎに直接電話して見学希望してもらう方法もありますが、審議会の中でご希望があれば希望者で施設見学をしても良いかと考えております。

会長 : 見学を希望される方がいるので、事務局の方日程調整をお願いします。

事務局 : 改めて日程を調整させていただきます。

会長 : 以前に茨城県にあるビンの工場見学をしてから柏市のあさひガラスの工場を見学して回ったことがあるが、リサイクルの状況がよくわかる。できるだけ減量してリサイクルできたらいいので、施設を見学した方がみなさんよくわかると思います。

古瀬委員 : 浄化槽のことについてお伺いしたいのですが、単独と合併があるが、雨水側溝には流れていないのでしょうか。雨水側溝が臭いという苦情がありまして、生活排水とし尿は雨水側溝には流れていないのですか。

事務局 : 浄化槽は合併処理浄化槽と単独処理浄化槽があり、新設で単独処理浄化槽は設置できません。単独処理浄化槽は水洗トイレの汚水だけを浄化して雨水側溝や道路の下の排水管に流すこととなります。その場合、トイレの水だけを浄化し、台所やふろ場の水は直接そのまま雨水側溝や道路の下の排水管に流す形になります。ほかには合併処理浄化槽があり、生活雑排水をすべて処理して同じように、雨水側溝や道路下の排水管に流しています。下水道が普及していないところはすべてそうになっています。雨水を流す時とすべて同じ処理になります。

古瀬委員 : 雨の多い日は良いのですが、乾燥が続いて暑い日になると苦情が多いので一度聞いてみようとおもっていました。

事務局 : 単独浄化槽やくみとりのトイレはまだ鎌ヶ谷市にありましてその場合は台所排水等がそのまま雨水側溝に流れる事はあります。浄化槽を使用している場合にも、それぞれの浄化槽の管理状況によっては汚れた水が一時的に流れることもあり得ます。

古瀬委員 : 業者が維持管理されているんですよね。

事務局 : 維持管理することが、浄化槽法に定められています。千葉県の所管になり、千葉県が指導している形になっています。

和田委員 : ゴミの排出量について聞きたいのですが、人口はほぼ同じなのにゴミの排出量が減っているのですが、これはどういった事が減量化につながっていると考えていますか。

事務局 : リサイクルが進んでいると見受けられます。

和田委員 : 高齢化が進んでいって、リタイヤする方が増える、リタイヤする方が増えると在宅比率が高まる、そうするとゴミが増える。鎌ヶ谷市の人口構成はわからないが、ゴミの比率がかなり減っているのも特別な事をやっているのかと思い聞きました。

事務局 : リサイクルショップやイオンなど大きなスーパーではリサイクルできるものを回収するとポイントが貯まるという取り組みなどがあり、リサイクルのいろいろな取り組みをしている、そういったところに参加されている方も多くいらっ

しゃるのかと思っています。

会長 : そのほか質問ご意見をお願いします

小山委員 : ゴミのステーション2カ所にスプレー式の缶が1つ2つ残っているのが車の中から見えたのですが、平成29年4月からは穴を開けなくて良いと聞いていたのにあそこに残っていたのはなぜですか。

事務局 : 中身が入っているか、後出しの可能性もあるし、単純に回収する日を間違えて出してしまったという事もあるのかと思います。

渡部委員 : 町内を巡回するのですが、まだ再生できるものが捨てられているので、それを再生できる方法が何かないのかいつも考えています。なんでもかんでも捨ててしまうのが一番困ります。

事務局 : 最近、リサイクルショップにだす人が多く、本市でも粗大ゴミの中から何かリサイクルができるものはないかとチェックをいれているのですが、なかなか再利用になるような物はありません。その中でも再利用できそうなものはリサイクルフェアで扱っています。

矢崎委員 : 新聞をトイレットペーパーとの交換にだされている人が多いですが、それはこの資料の中に入ってないですか。

事務局 : 資料の中には入ってこないです。

会長 : リサイクルでごみの減量化をすることは大変難しい事かと思われまますのでみなさんよろしくをお願いします。事務局はクリーンセンターしらさぎの見学の日程調整をお願いします。

会議録署名人署名

以上、会議の経過を記載し、相違ないことを証明するため、次に署名する。

平成29年8月25日

氏名 渡部 郷勝 _____

氏名 古瀬 洋司 _____